

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月25日		記入者	内線	2716
部名	経済部	課名	商業観光課	課長名	加藤 一嘉
事務事業名	たてしな自然の村管理運営事業				
予算上の事務事業名	たてしな自然の村管理運営費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		35220		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます				
基本施策名	第2節 観光の振興と余暇対策の推進				事業開始年度
施策名	第2施策 余暇利用施設の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市立自然の村条例、相模原市立自然の村条例施行規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分		施設運営 ▼			
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
たてしな自然の村は、豊かな自然環境の中で市民の健康の増進と青少年の心身の健全な育成を図り、もって市民福祉の向上に寄与することを目的とするものである。			市民及び市内の在勤在学者並びに町田市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1 管理運営費(相模原市都市整備公社): 65,990千円					
2 利用者: 11,291人 *キャビン利用棟数: 1,639棟					
3 その他: たてしな自然の村のPR活動(7月に市内の大型店舗や大学へ訪問しPRを実施)バスツアーの実施(10月)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位:千円〕</span>					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	66,374	61,200	65,301	63,711	44,711
一般財源	48,164	44,056	48,067	44,711	44,711
受益者負担金	18,210	17,144	17,234	19,000	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	3,410	3,282	3,307	3,307	3,307
事業コスト合計(a)	69,784	64,482	68,608	67,018	48,018
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	たてしな自然の村利用者に対する経費の割合		対象名称(単位)	利用者数(人)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	69,784	64,482	68,608	67,018	48,018
対象数	12,326	11,478	11,291	12,000	12,000
単位あたり経費(円)	5,662	5,618	6,076	5,585	4,002
前年度比		0.99	1.08	0.92	0.72

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	キャビンの利用率	指標式と指 標の説明	年間延利用棟数 / 年間延利用可能棟数 × 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	33.9	31.2	32.1		
目標	0.0	0.0	0.0	33.0	33.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	決算額に対する使用料収入の 割合	指標式と指 標の説明	使用料収入 / 決算額 × 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	24.8	27.2	28.7		
目標	0.0	0.0	0.0	28.0	0.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[		]: 良好な状態を維持する事業		
	[		]: 概ね良好な状況である事業		
	[		]: 見直しを行う必要がある事業		
	[		]: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業		
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 施設管理・運営経費の見直しを行い、経費の節減を図るとともに、施設のPRを積極的に行い利用者の増加を図り、健全な管理運営に取り組んでいる。 平成18年度から民間業者の専門的知識や経営資源を活用するため、指定管理者制度及び利用料金制度を導入する。			14 課題として認識されたこと 築後20年を経過し、キャビン棟の建替えを含めた再整備計画の策定とそれに基づく再整備必要となっている。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
			指定管理者制度の導入。		